



第4回デジタル化推進検討懇談会

2024年3月28日 10時00分～12時00分
佐渡市役所本庁3階 第3委員会室



- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 議事
 - 1) 前回の振り返り
 - 2) デジタル活用計画（案）について
 - 3) 令和6年度事業について
 - 4) 懇談会の在り方について
 - 5) その他
- 4 副座長あいさつ
- 5 閉会



2 座長あいさつ



3 議事

1) 前回の振り返り

1) 前回の振り返り



- デジタル活用計画（素案）のフレームについて
 - ・ PDCAの「A」
 - ・ 災害時を踏まえたアナログとの共存
 - ・ KPIの設定
 - ・ パブコメの手法
- R6年度事業「デジタル祭り」について
 - ・ 体験に主眼
 - ・ 「2030年に佐渡で働いている人」がターゲット



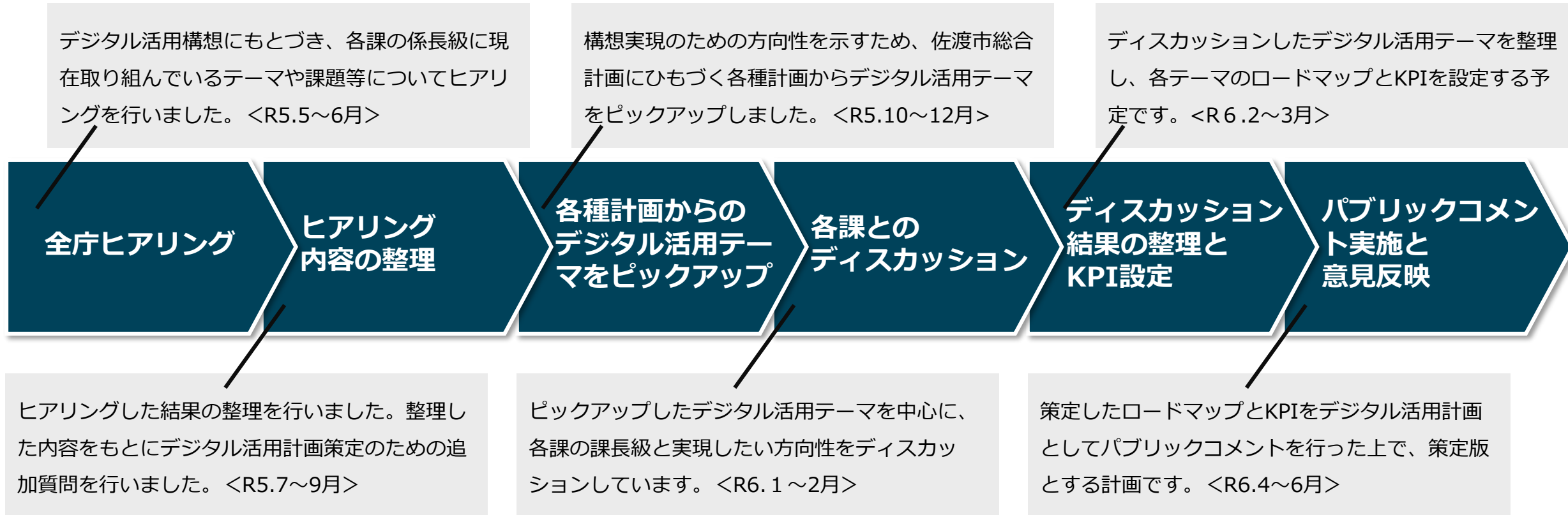
3 議事

2) デジタル活用計画（案）について

2) デジタル活用計画（案）について 計画策定の進め方



- R5年6月に策定したデジタル活用構想をもとに、デジタル活用計画に落とし込むためにヒアリングやディスカッションを行っております。



2) デジタル活用計画 (案) 計画の構成



- デジタル活用構成にて策定した、5つの基本目標に付随する17の実現したい未来のイメージ毎に、取り組みテーマとロードマップを作成する構成としています。

<5つの基本目標>

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍しいきいきと暮らせるまちづくり

時間・空間の制約を越え、郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり

情報が集まるシカケとコラボで、地域の活力と賑わいあふれるまちづくり

デジタルネットワークを活かして、心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり

<17の実現したい未来のイメージ>

みんなで作る・つながる、いのちを守るための災害対応

誰でも安全で快適なモビリティサービス

グリーンで最適なインフラの実現

ネイチャーポジティブな自然資源マネジメント

エネルギー循環の仕組み

医療・介護・福祉・救急の垣根を越えたケアの実現

データに基づく楽しい健康づくりのシ・カ・ケ

垣根を越えた地域ぐるみの子育て

いつでも・どこでも・いつまでも世代を越えた学び合い ～何歳からでも輝ける～

一人ひとりの個性を伸ばす教育ダイバーシティ

距離と時間を越えた文化継承を育むコミュニティ

データでつなげる・とどけるシティプロモーションで佐渡ファンの拡大

スタートアップと地場企業のコラボレーションで産業振興にシナジーを

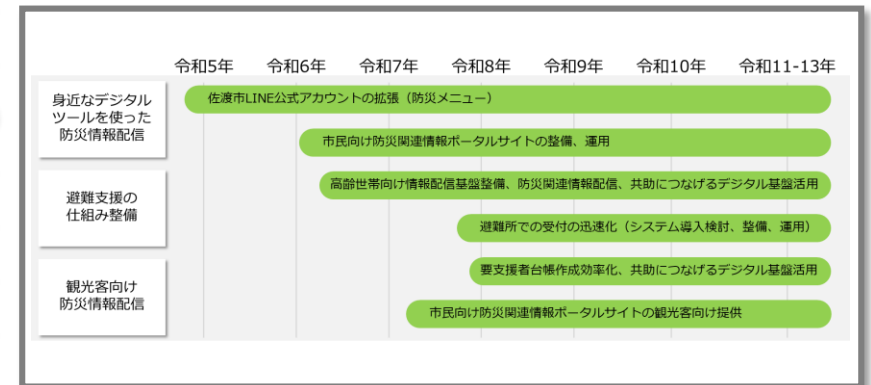
ニーズに合わせた地場産品の高付加価値化とサプライチェーンの構築

みんなが使えるキャッシュレスで島内経済循環活性化

イケてる行政 ～便利で身近で時代に即した頼れる市役所～

より良い佐渡をみんなで作るための共創的コミュニティの実現

<取り組みテーマとロードマップ>

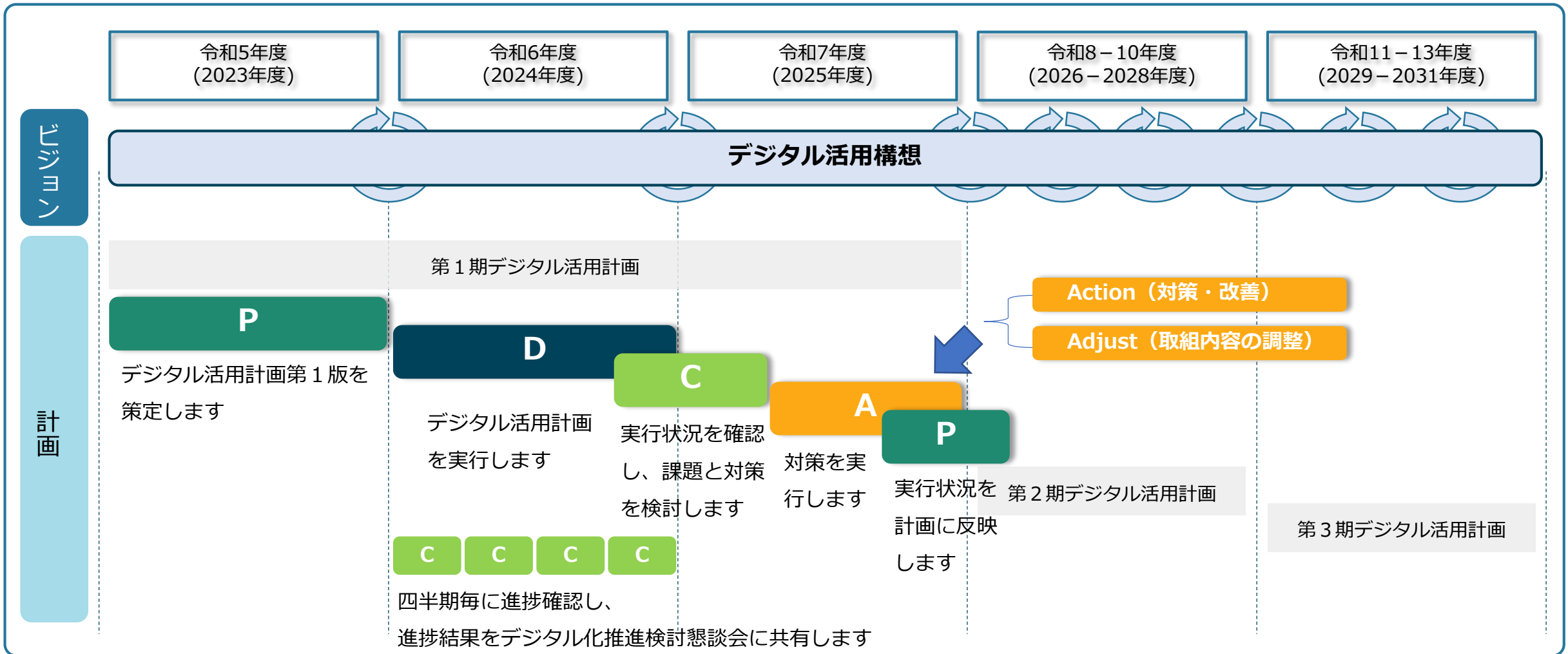


取り組みテーマ	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11-13年
身近なデジタルツールを使った防災情報配信	佐渡市LINE公式アカウントの拡張 (防災メニュー) 整備完了						
避難支援の仕組み整備	市民向け防災関連情報ポータルサイトの整備 (防災メニュー) 一部地域提供	整備完了					
観光客向け防災情報配信	高齢世帯向け情報配信基盤整備	一部地域提供	500世帯追加展開	1,000世帯追加展開	2,000世帯追加展開	2,000世帯追加展開	更新
	防災関連情報配信、共助につなげるデジタル基盤活用	一部地域提供	提供地域拡大	提供地域拡大	提供地域拡大	提供地域拡大	サービス見直し
	避難所での受付システム整備		導入検討	一部地域導入	導入地域拡大	導入地域拡大	全島整備
	要支援者台帳にちとづく共助につなげるデジタル基盤活用		導入検討	一部地域導入	導入地域拡大	導入地域拡大	全島整備
	市民向け防災関連情報ポータルサイトの観光客向け提供		提供開始				

2) デジタル活用計画（案）について 計画の実行にあたって



- デジタル活用計画の実行にあたっては、PDCAサイクルを継続して実行していくこととします。





3 議事

3) 令和6年度事業について

3) 令和6年度事業について

3. 教育・文化

4. 産業振興・雇用



■ 「時空を超えて江戸時代の佐渡にタイムスリップ事業」 予算額：14,939千円

メタバース空間上に"なんだかおもしろそう"な江戸時代にタイムスリップした参加型プラットフォームを用意し、世界中の誰もが佐渡の歴史を楽しめる空間を作り上げます。

令和6年度にメタバース空間を構築することで世界遺産登録を盛り立てるとともに、「佐渡島の金山」の価値を新たな手段で広め、これまでにない層の佐渡ファンの獲得につなげます。

3) 令和6年度事業について

5. 市民活動・行政活動



- 「ノーコード／ローコードツール活用による
市民サービス向上事業」
予算額：8,191千円

従来の庁内事務において、紙や手作業、エクセル等で行われている業務をWEBアプリケーション化することで、業務の効率化・高度化を図ります。

プログラミング等の専門的な知識によらず職員自らが業務アプリの実装が可能な環境を導入し、庁内DXのステップとします。

3) 令和6年度事業について

5. 市民活動・行政活動



■ 「デジタル化推進事業」

予算額： 1,0153千円

「佐渡市総合計画」に掲げる施策の実現に資するためのデジタル技術の活用について、基本方針及び実行計画を示す「佐渡市デジタル活用構想・計画」を策定し取組を推進します。

構想・計画の策定、進捗、見直しについて意見・助言を求める「デジタル化推進検討懇談会」を開催します。

市民を巻き込んだデジタル活用の浸透のため、佐渡市のデジタル活用の取組を周知するための「かわら版」を発行します。

3) 令和6年度事業について

3. 教育・文化



■ 「学校 I C T 推進事業」

予算額： 94,621千円

児童生徒目線の分かりやすく利用しやすいA Iドリルを含めた学習支援ソフトを導入し、タブレット端末を活用した児童生徒の学力向上につなげます。

3) 令和6年度事業について

2. 医療・介護・福祉



■ 「健幸ぽいんと事業」

予算額：2,051千円

健幸ぽいんと事業に子ども若者課も参入することで、子どもや子育て世代の参加を促進し、親子でポイントラリー楽しんでもらいながら、幼少期からの運動習慣等の定着を目指します。

(予算額：240千円 子ども若者課)

健康づくりに取り組む市民を増やし、楽しみながら運動習慣の定着を図るため、全世代を対象とした

「健幸ぽいんと事業」と「ラジオ体操普及啓発事業」を継続します。

(予算額：435千円 社会教育課)

国民健康保険加入者の健康増進活動に応じてポイントを付与することにより、特定健康診査の受診率や特定保健指導の改善率向上につなげます。

(予算額：585千円 市民課)

介護予防教室等に参加する高齢者へインセンティブを付与することにより、高齢者自身が運動機能低下・閉じこもり防止に取り組むきっかけにつなげ、健康寿命の延伸を図ります。

(予算額：791千円 高齢福祉課)

3) 令和6年度事業について

4. 産業振興・雇用



■ 「シティプロモーション推進事業」

予算額：1,484千円

広報満足度向上のため、市公式LINEを最大限活用して、市民のみならず観光客にとっても欲しい情報を届けられ、便利なツールになるよう工夫を図り、登録者を増やしていきます。

また、島内外の若者等が佐渡のインフルエンサーとなってSNSを通じて佐渡の魅力を国内外に広く発信してもらおう仕掛けをつくり、市のイメージ、認知度向上を図るとともに、交流人口の拡大につなげます。



3 議事

4) 懇談会の在り方について

4) 懇談会の在り方



- ・ デジタル政策の伴奏支援には、佐渡市の政策アドバイザーの活用は考えられないか？
- ・ 懇談会メンバーは固定しながら、分野に興味のある人に参加してもらえそうな形。
- ・ 自由に参加できるサロンのような形やセミナーとセットのような形の開催はどうか？
(固定メンバーは固定メンバーとして)
- ・ 自動運転のような社会実験を試みたような取組や、これから考えている取組などの紹介&意見交換の場としてはどうか？ (様々な情報インプットを行ったうえでのアウトプットができるとよい)
- ・ 「ゆるつなCafé」 (佐渡市で医療・介護・福祉に携わるみなさまで「ゆる〜くつながっていくこと」を目指す集まりのこと) など、いろいろなセクターとコラボすることも考えられるのでは？
- ・ 計画に掲載されていながら具体化されていない取組に対するセミナーのような形はどうか？
- ・ デジタル政策室が欲しい情報にスポットを当てた勉強会。→計画のテーマのうちの漠然とした部分に対して意見交換しながら輪郭をはっきりとさせていく。
- ・ 市民への周知のための仕掛けづくりを担う懇談会。



4 副座長あいさつ



5 閉会



<https://www.city.sado.niigata.jp/>